



【めざす学校像】

5つの気がみなぎり笑顔があふれる学校



『自己効力感』を高める

校長 富澤敏夫



師走を迎え、長かった2学期は、残すところあとわずかとなりました。ようやく暦どおりの季節感が感じられるようになりましたが、11月は中旬まで半袖が必要な状況でした。日本は「四季」が定説となっていますが、今後は春・秋は極めて短期間となり、「二季」（ほぼ夏か冬の季節感）に移行していくのではないかとされています。

いま子供たちは、学習や生活のまともに全力で取り組んでいるところです。その中で自身の成長について実感できるよう、サポートして参ります。

さて、最近『自己肯定感』に合わせ、『自己効力感』という言葉がよく聞かれるようになりました。過日受けた研修において、指導者から「子供の自己効力感をぜひ高めてほしい。」という話がありました。これを受け、『自己効力感』について改めて調べてみました。

1 自己肯定感と自己効力感

自己肯定感	自己効力感
「自分は価値ある存在である」「周囲によい影響を与えることができる存在である」などと考えることができる感情	目標を達成するための能力を自分自身をもっていと認識する感情や認知状態 「自分ならできる」「きつとうまくいく」
⇒『生きる』ことに直結	⇒『行動する』『学習する』『成長する』に直結

2 自己効力感が高まると...

- ・物事に積極的に取り組めるようになる。 ・失敗してもへこたれない。
- ・モチベーションを維持できる。 ・仕事（学習）のパフォーマンスが向上する。



3 自己効力感を高めるには...

- ・小さな成功体験を積み、「できた」を実感する（させる）。
- ・他者の成功体験を見て、また他者評価により、「自分にもできそうだ」を実感する（させる）。
- ・ドキドキやワクワクといった高揚感を得て、「やってやるぞ」と思う（思わせる）。

4 留意点

- ・自己効力感是不安定なものなので、段階を踏んで育てていく。
例：「自分にはとてもできそうにない。」といった感情を抱かせないようにしたい。
- ・長所に注目し、まず長所を認め、その長所をもとに「どうすればうまくいくか」という視点をもって対話する。
- ・結果ではなく過程を重視し、成功したらその喜びを共有する。

この度「日々の教育活動の中で子供たちの『自己効力感（行動・学習・成長に直結）』を高めることは、私たちの使命である。」と職員間で共有したところです。お子様のよりよい成長のために共に考え取り組んで参りましょう。御家庭の御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年は残りわずかです。この一年間を御家庭で総括し、新しい年をお迎えください。



日	曜日	予定
1	日	
2	月	放課後子ども教室
3	火	学力アップテスト(全学年)
4	水	
5	木	書きぞめ競書会(5時間)
6	金	委員会
7	土	
8	日	
9	月	放課後子ども教室
10	火	
11	水	月曜授業(水曜時程)
12	木	1・2年4時間 3~6年5時間
13	金	1・2年4時間 3~6年5時間
14	土	
15	日	
16	月	4時間授業
17	火	4時間授業 大掃除
18	水	4時間授業
19	木	4時間授業 給食終了
20	金	3時間授業
21	土	
22	日	
23	月	3時間授業
24	火	第2学期終業式
25	水	冬季休業日
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

【1月の主な行事】

- ・冬季休業日 ~1/7(火)
- ・10日(金) 書きぞめ清書会
- ・22日(水) 薬物乱用防止教室(6年)
- ・24日(金) 令和7年度入学説明会

修学旅行



11/11、12に会津若松方面へ修学旅行に行ってきました。1日目は、日新館で座禅体験、鶴ヶ城から飯盛山までの班別学習やホテルでの生活、2日目は、五色沼周辺のトレッキングなど素敵な思い出と学びのある充実した修学旅行となりました。

芸術鑑賞会



11/18に文化庁の事業である芸術鑑賞会が体育館で行われました。今年は、「二期会合唱団」に来ていただき、(1)合唱曲コンサート(2)オペラを歌って、聞いて、見て楽しむことができました。素晴らしい歌声に圧倒され、心に残る公演となりました。

社会科見学(5年生)



11/21に5年生が社会科見学に行ってきました。川口の「スキップシティ」で放送について学び、北本にある「グリコ」工場で製品ができるまでの工程や仕組みについて学びを深め、充実した一日となりました。